



経歴やスキルも様々な社員が働くオフィスには、自由なアイデアが飛び交う。

## 株式会社Local Power

経営探訪

# 地方発のトレンド発信企業へ

コロナ禍の影響で飛躍的に需要が拡大した除菌消臭水「iPOSH」を製造・販売するベンチャー企業。「秋田らしさ」を最大限に活用した事業の多角化戦略に迫る。

### ▶▶ 特許技術で地方発のビジネスモデルを

今、秋田県下で勢いのある企業の一つと呼び声が高い株式会社Local Power。除菌消臭水「iPOSH」の製造・販売を主事業とする2013年創業のベンチャー企業だ。東京出身の寺田耕也社長がビジネスの拠点に秋田を選んだのは、奥様の実家があり、その自然環境と、「地方はなんでも作り出せることに魅力を感じている」から。地方の人材や技術、資源を発掘して製品やサービスを生み出し、市場として厳しい環境の秋田でブラッシュアップ、そして国内外へ広めるというプロセスで、着々と事業の幅を広げている。

主力製品である「iPOSH」は、元大手化学メーカーの研究者だった父親が開発した特許技術により、次亜塩素酸濃度

の安定化に成功した画期的な製品だったが、当初、県内の医薬品卸や調剤薬局からは門前払いが多かった。しかし、販路を紹介してもらうなどの協力もあり、コロナ禍を経て、現在では全国12,000の医療施設や調剤薬局、学校や幼稚園、さらに海外へ販路を拡大している。「iPOSHの特許技術はもともと種の消毒などの農業技術として開発されたものなので、ゆくゆくは農業に関係した事業も手掛けたい」と研究を続ける一方で、その販路を活用すべく、昨年、新たに薬用ミルクローション「Pharmal」を開発し販売を開始。顧客層にマッチする品質とビジュアルイメージで、女性誌など30誌に取り上げられる話題商品となっている。

### ▶▶ 「秋田だからできる」を強みに

「“餅は餅屋”、チームビルディングが我が社のモットーです」と話す寺田社長。製品開発・製造・販路・物流などの各工程を県内の専門企業にそれぞれ委託し、連携することで競争力を高めている。地方での事業展開において、市場規模が小さいというデメリットは、県外や国外にマーケットをつくることで解消でき、資源・コスト・人の距離・メディア活用の面ではむしろ地方が有利だという。「1アクションで県内の各分野の専門家と繋がることができ、その方から全国、海外へ繋がることも可能。メディアに取り上げられやすく、他県からも注目してもらえる。トップ同士の信頼関係を構築しやすいので、スピード感を持って事業を推進することができます」。

シェアリング事業として、2020年4月から運営している「みんなの体育館やばせ」は、県内企業との連携により、構想からわずか3か月で木材倉庫を改修してオープンした。

「子どものスポ少で、屋内スポーツ施設の不足を感じていたためシェア体育館を作り、家族と気軽にアウトドアを楽しみたい、シェアキャンピングカーも作りました。自分が欲しいものはきっと他の人も欲しいはず、という思いつきがきっかけです」。

スポーツ教室会場としてのニーズを事前に調査し、年間利用契約を交わしてから着工したというシェア体育館の運営は順調で、他にも、秋田市の飲食店との共同事業でシェアレストランの運営も手掛けている。

“秋田は楽しい。足りないものを補ってあげれば、秋田はもっと楽しくなる”という寺田社長の思いは、戦略的かつスピーディに、次々と具現化されている。



① 体育館には、全国屈指の県内フローリングメーカーの床材を採用。  
② 曜日、昼夜で店が変わる新しいスタイルのレストラン。  
③ 車内にはミニWi-Fiとプロジェクターを完備。テレワーク利用も可能。

### ▶▶ ワークライフバランスで生産性向上

過去に1か月間の育児休業を経験し、「制御不能な子ども相手の育児や家事、すべてが自分にとってプラスになっている」と話す寺田社長は、自らワークライフバランスを実践しながら、時短勤務や在宅ワークなどのライフステージに合わせた制度設計や、社員一人ひとりが力を発揮できる最適な環境を整えて、会社全体の生産性向上につなげている。事業の3本目の柱として掲げているソリューション事業では、中小企業向けに、カスタマイズ可能なRPA (Robotic Process Automation) システムの開発に取り組み、サービス事業とソリューション事業については、独立を前提にインプレナー(社内起業家)を育成し、別会社化してグループ会社として連携する将来を見据えているという。「好奇心やわくわくに素直」と自身の性格を分析する寺田社長の、新規事業のアイデアは尽きることがない。

「やりたいことさえ決まっていれば、何でもできるのが地方だと思う。地方発ビジネスを発信して、“チャレンジするなら地方”という機運を盛り上げていきたい」と話す寺田社長。自らも秋田の魅力を楽しみながら、新たなフィールドを開拓していく。



④ 安全性が高く、誰でも安心して使用できる商品を展開。  
⑤ 時短勤務や在宅・リモートなど多様な働き方を推進。

地方で発掘した人材や技術をブラッシュアップして秋田からトレンドを発信し、国内外に新たなマーケットを創出していきます。



代表取締役社長 寺田 耕也  
てらだ こうや

## 株式会社Local Power

〒010-0962 秋田県秋田市八橋大畑2-3-1 White Cube 1F  
TEL.018-838-6943 FAX.018-803-4884 <https://lpower.jp>

創業/2013年 資本金/1,000万円 従業員数/21名  
業務内容/化学製品事業、シェアリング事業、地域課題ソリューション事業